

新旧対照表

地方独立行政法人神奈川県立病院機構令和7年度業務実績評価書（案）

参考資料3

	新	旧												
1	P 30 小項目 9 医療安全対策の推進 <table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>コメント</th></tr><tr><td>B</td><td> 病院機構においては、目標値として設定した「42 の提言に基づくインシデント報告数や院内感染に関する研修受講率」等について、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、『42 の提言』アクションプラン」の着実な実施については、令和 7 年度までのタスク進捗率が 86.3%となっており、進捗が予定どおりに進んでいない取組については、更なる取組が必要である。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。 </td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	コメント	B	病院機構においては、目標値として設定した「42 の提言に基づくインシデント報告数や院内感染に関する研修受講率」等について、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、『42 の提言』アクションプラン」の着実な実施については、令和 7 年度までのタスク進捗率が 86.3%となっており、進捗が予定どおりに進んでいない取組については、更なる取組が必要である。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。	P 30 小項目 9 医療安全対策の推進 <table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>コメント</th></tr><tr><td>B</td><td> 病院機構においては、目標値として設定した「42 の提言に基づくインシデント報告数や院内感染に関する研修受講率」等について、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、『42 の提言』アクションプラン」の着実な実施については、令和 7 年度までのタスク進捗率が 86.3%となっており、進捗が予定どおりに進んでいない取組については、更なる取組が必要である。 <u>また、令和 7 年 9 月に発生したがんセンターでの医療事故においては、診療にかかわるマニュアルが十分ではなかった。</u> 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。 </td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	コメント	B	病院機構においては、目標値として設定した「42 の提言に基づくインシデント報告数や院内感染に関する研修受講率」等について、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、『42 の提言』アクションプラン」の着実な実施については、令和 7 年度までのタスク進捗率が 86.3%となっており、進捗が予定どおりに進んでいない取組については、更なる取組が必要である。 <u>また、令和 7 年 9 月に発生したがんセンターでの医療事故においては、診療にかかわるマニュアルが十分ではなかった。</u> 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。
神奈川県評価														
評価点数	コメント													
B	病院機構においては、目標値として設定した「42 の提言に基づくインシデント報告数や院内感染に関する研修受講率」等について、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、『42 の提言』アクションプラン」の着実な実施については、令和 7 年度までのタスク進捗率が 86.3%となっており、進捗が予定どおりに進んでいない取組については、更なる取組が必要である。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。													
神奈川県評価														
評価点数	コメント													
B	病院機構においては、目標値として設定した「42 の提言に基づくインシデント報告数や院内感染に関する研修受講率」等について、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、『42 の提言』アクションプラン」の着実な実施については、令和 7 年度までのタスク進捗率が 86.3%となっており、進捗が予定どおりに進んでいない取組については、更なる取組が必要である。 <u>また、令和 7 年 9 月に発生したがんセンターでの医療事故においては、診療にかかわるマニュアルが十分ではなかった。</u> 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。													

新旧対照表

地方独立行政法人神奈川県立病院機構令和7年度業務実績評価書（案）

新		旧											
2	P 49 小項目 14 がんセンター	P 49 小項目 14 がんセンター											
	<table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>コメント</th></tr><tr><td><u>B</u></td><td> 病院機構においては、目標値として設定した「手術の件数や放射線治療件数」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、重粒子線治療件数は中期計画の目標値を下回っており、また、直近では減少傾向が続いていることから、改善に向けた取組が必要である。 また、令和7年9月に発生した医療事故について、当該医療事故の発生後、院内事故調査委員会における調査結果を待つことなく、自主的な再発防止策を進めたことは評価できるが、胃食道外科手術を停止し、県民への医療提供に影響があった。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、<u>B評価</u>とした。 </td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	コメント	<u>B</u>	病院機構においては、目標値として設定した「手術の件数や放射線治療件数」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、重粒子線治療件数は中期計画の目標値を下回っており、また、直近では減少傾向が続いていることから、改善に向けた取組が必要である。 また、令和7年9月に発生した医療事故について、当該医療事故の発生後、院内事故調査委員会における調査結果を待つことなく、自主的な再発防止策を進めたことは評価できるが、胃食道外科手術を停止し、県民への医療提供に影響があった。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、<u>B評価</u>とした。	<table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>コメント</th></tr><tr><td><u>C</u></td><td> 病院機構においては、目標値として設定した「手術の件数や放射線治療件数」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、重粒子線治療件数は中期計画の目標値を下回っており、また、直近では減少傾向が続いていることから、改善に向けた取組が必要である。 また、令和7年9月に発生した医療事故を受け、病院全体としてのガバナンスの再構築、診療にかかわるマニュアルの整備等の再発防止に向けた取組を行っていた間（約4か月間半）、胃食道外科手術を停止し、県民への医療提供に影響があった。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、<u>C評価</u>とした。 </td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	コメント	<u>C</u>
神奈川県評価													
評価点数	コメント												
<u>B</u>	病院機構においては、目標値として設定した「手術の件数や放射線治療件数」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、重粒子線治療件数は中期計画の目標値を下回っており、また、直近では減少傾向が続いていることから、改善に向けた取組が必要である。 また、令和7年9月に発生した医療事故について、当該医療事故の発生後、院内事故調査委員会における調査結果を待つことなく、自主的な再発防止策を進めたことは評価できるが、胃食道外科手術を停止し、県民への医療提供に影響があった。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、<u>B評価</u>とした。												
神奈川県評価													
評価点数	コメント												
<u>C</u>	病院機構においては、目標値として設定した「手術の件数や放射線治療件数」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、重粒子線治療件数は中期計画の目標値を下回っており、また、直近では減少傾向が続いていることから、改善に向けた取組が必要である。 また、令和7年9月に発生した医療事故を受け、病院全体としてのガバナンスの再構築、診療にかかわるマニュアルの整備等の再発防止に向けた取組を行っていた間（約4か月間半）、胃食道外科手術を停止し、県民への医療提供に影響があった。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、<u>C評価</u>とした。												

新旧対照表

地方独立行政法人神奈川県立病院機構令和7年度業務実績評価書（案）

	新	旧												
3	P 65	P 65												
	小項目 20 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	小項目 20 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置												
	<table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>コメント</th></tr><tr><td>A</td><td>(削除)</td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	コメント	A	(削除)	<table><tr><th colspan="2">神奈川県評価</th></tr><tr><th>評価点数</th><th>コメント</th></tr><tr><td>B</td><td>病院機構においては、目標値として設定した「経常収支比率や修正医業収支比率」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、県からの運営費負担金が大幅に増額されていることを踏まえ、更なる経営改善が必要である。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。</td></tr></table>	神奈川県評価		評価点数	コメント	B	病院機構においては、目標値として設定した「経常収支比率や修正医業収支比率」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、県からの運営費負担金が大幅に増額されていることを踏まえ、更なる経営改善が必要である。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。
	神奈川県評価													
評価点数	コメント													
A	(削除)													
神奈川県評価														
評価点数	コメント													
B	病院機構においては、目標値として設定した「経常収支比率や修正医業収支比率」等については、目標値を達成したため、A評価としている。 一方で、県からの運営費負担金が大幅に増額されていることを踏まえ、更なる経営改善が必要である。 以上のことから、年度計画を達成できているとは言えないため、県においては、総合的に判断して、B評価とした。													